

ブックリスト 食の問題

中国製冷凍ギョーザによる中毒事件、食品産地偽装、自給率の低下など、食の問題が毎日のように報道され、食品への不安が高まっています。
そこで今回は、食の問題について、1 食品衛生、2 食糧問題、3 その他、の3つのテーマで、所蔵資料をご紹介します。

紹介する図書は、香川県立図書館に所蔵するものです。

- ・内容紹介は(株)日販図書館サービスが作成したデータです。
 - ・請求記号順に図書を紹介します。
 - ・ご利用の際は、書名と請求記号(本の背表紙のラベル番号)でご指定ください。
- 資料の探し方などについて、ご不明な点がございましたら、カウンターでお尋ね下さい。

1 食品衛生

通番	書名	著者等	発行所	発行年月	請求記号
1	安全な食品の選び方がわかる本 チェック!	食品表示のここを 阿部絢子/監修	PHP研究所	2007/09/01	4985/A13/
	食品添加物や残留農薬、遺伝子組み換えなど、食品表示には安全性やおいしさを見極めるための重要な情報が詰まっている。その表示を見るポイントをわかりやすく解説。食の安心を自分の目で確かめるための書。				
2	中国食材調査	陳惠運/著	飛鳥新社	2007/11/01	4985/C9/
	ゴムまがいの人造鶏卵、抗生物質入りの牛乳、漂白された小麦粉、排泄物で作った臭豆腐…。帰化中国人食品ジャーナリストが、目を覆わんばかりの中国食材の実態を告発する。				
3	これを食べてはいけない	郡司和夫/著	三笠書房	2007/01/01	4985/G4/2
	一酸化炭素を注入し、「新鮮な赤色」に着色したマグロ刺身、1串にいくつものリスクが隠れている焼き鳥…。原料表示では見分けられない、隠された「食品の履歴書」を公開。自分と家族の健康を守るための必読書。				
4	誤解だらけの「危ない話」 換え、BSEから電磁波まで	食品添加物、遺伝子組み 小島正美/著	エネルギーフォー ム	2008/09/01	4985/K108/
	実際にはほとんど害のないのに、絶えない「食の不安」の声。食品添加物、遺伝子組み換え、BSEから電磁波まで、近年、人々の心を不安に駆り立てた話題を取り上げ、メディアによる不安増幅のメカニズムを明かす。				
5	生活防衛ハンドブック	小若順一/著	講談社	2008/09/01	4985/K35/4
	増量肉、増量魚、汚染された水、化学物質だらけの調味料…。食品から住宅まで、隠された危険から身を守れ。住まいの神経毒などの知られざる実態を明かし、恐い時代をサバイブする方法を完全ガイド。				
6	どうすれば食の安全は守られるのか に求められる品質保証の考え方	いま、食品企業 米虫節夫/編	日科技連出 版社	2008/09/01	4985/K75/3
	食品不祥事を科学的に検証し、食の安心・安全を担保するために必要な正しい表示・トレーサビリティ・コンプライアンスについて具体例をあげて解説。科学的知見に基づいた品質保証の考え方を提示する。				
7	輸入食品・加工食品・外食の毒消し術	増尾清/著	主婦の友社	2007/12/01	4985/M9/7
	次々と判明する輸入食品・加工食品・外食の驚くべき実態。危険な食品から身を守るために、家庭で簡単にできる食品の解毒法を食材・加工品・調理品別に紹介。わずか数分程度で、今すぐ実行できる方法を多数収録。				

8 牛丼焼き鳥アガリクス 文春新書 554 中村靖彦/著 文藝春秋 2007/01/01 4985/N57/3

ノルウェー産のさばにベトナム産の大根おろし、つまみは中国産の枝豆…。安さ・早さ・うまさを追求する外食産業。その一方で余る米。国際化をキーワードに、食品安全委員会の内部から見た「現代の食の断面」を描く。

9 中国の危ない食品 中国食品安全現状調査 周勅/著 草思社 2007/01/01 4985/S125/

中国の新生代ジャーナリストが4年にわたる取材から、中国国内の食品汚染の恐るべき実態とその社会的背景に鋭く迫る。2006年度のドイツ「ユリシーズ国際ルポルタージュ文学賞」佳作となった衝撃の報告。

10 中国ニセ食品のからくり 富坂聡/著 角川学芸出版 角川グループパブリッシング 2007/12/01 4985/T64/

危険な中国製品の情報は巷に溢れている。一方で私たちは、中国製品と決別することはできないほど中国に依存してもいる。深刻な環境汚染、知れば知るほどおぞましい生産現場をレポートし、中国と生き抜く方策を探る。

11 ヤマザキパンはなぜかびないか 誰も書かない食品&添加物の秘密 渡辺雄二/著 緑風出版 2008/03/01 4985/W4/11

ミリオンセラー「買ってはいけない」の著者が、食品業界のタブーを斬る。ありとあらゆる加工食品に使われている、多種多様な食品添加物。本書ではそうした食品や添加物を取り上げ、消費者の視点から見直す。

12 食品の迷信 「危険」「安全」情報に隠された真実とは 芳川充/著 ホブラ社 2008/04/01 4985/Y61/

食品偽装のからくり、無添加・無農薬の落とし穴…。食の不安は食を知ることでしか解消できない。食品流通の隅々まで知り尽くした専門家が、現場情報と豊富なデータを駆使し、ニッポンの「食」の実態を解き明かす。

13 食品偽装 起こさないためのケーススタディ 新井ゆたか/共著 ぎょうせい 2008/09/01 5880/A4/

食品偽装事件が相次ぐ昨今。偽装を起こさないための有効策とは。食品表示の仕組みと課題、偽装の構造を説明した上で、偽装を起こさないための対策を解説。消費者との信頼構築に向けた新しい手法も提案する。

14 食品工場の品質管理 Do books ビジュアル図解 河岸宏和/著 同文館出版 2007/05/01 5880/K17/2

物理的・化学的・生物的の危害、日付表示ミス…。なぜ食品事故はなくなるのか。食品工場の品質管理を「農場からフォークまでの品質管理」と捉えることで食の安全を考え、実践的な効果の上がる手法を解説。

15 “食の安全”はどこまで信用できるのか アスキー新書 053 現場から見た品質管理の真実 河岸宏和/著 アスキー 2008/03/01 5880/K17/3

特売日に卵が大量生産される不思議、「朝採れレタス」が取れたのはいつの朝か。誰もが気付かない、食品業界のからくりの数々。「食の問題」の裏側にある、消費者が知らない真実を、現職の品質管理のプロが解明する。

16 食品工場の点検と監査 ビジュアル図解 Do books 河岸宏和/著 同文館出版 2008/04/01 5880/K17/5

安全な食品は安全な工場から生まれる。衛生的で安全な食材を仕入れるための、仕入先の点検と監査のポイントをビジュアルに解説。食品の原材料仕入担当者、スーパー、生協のバイヤー、外食産業などの購買担当者必読。

17 食品業界はなぜ平気で嘘をつくのか 怒れ消費者！これはもはや「食」のテロリズムだ！！ 垣田達哉/著 日本文芸社 2008/02/01 5880/K20/

大甘の法律、機能しない厚労省、冷・解凍でごまかされる消費期限と賞味期限、危ない中国産食品…。中国なしでは成り立たない、食品業界の暗部とは。食品業界でまかり通る「うそ」とその真実を明かす衝撃の書。

2 食糧問題

通番	書名	著者等	発行所	発行年月	請求記号
18	バイオエタノールと世界の食料需給	小泉達治/著	筑波書房	2007/09/01	5016/K24/
	農作物を原料とするバイオエタノールのガソリンへの混合が世界中で進められている。最大生産国の米国他、ブラジル、中国など各国のバイオエタノールの政策動向と、国際食糧需給に与える影響についてまとめた1冊。				
19	世界食料戦争	天笠啓祐/著	緑風出版	2008/06/01	6113/A10/2-2
	世界中で食料価格が高騰している。その煽りを受けて、多くの国で主食が高騰、パニックがおき、各地でデモや暴動が起きている。本書は、旧版を大幅に増補改訂し、最近の情勢もふまえ、そのメカニズムをやさしく解説。				
20	食料植民地ニッポン	青沼陽一郎/著	小学館	2008/03/01	6113/A13/
	タイの広島風お好み焼き工場、アメリカのBSE感染牛牧場、中国の農薬まみれ野菜畑…。日本は米中に「胃袋」まで占領されてしまった。追跡5年。食料自給率39%の裏側を暴く、衝撃の食“ノンフィクション”。				
21	Lost foods 僕らの食べものが危ない!	木根尚登/著	家の光協会	2008/07/01	6113/K42/
	「想像してみよう。自分の食べているものがどこからやってくるかってことを」。TM NETWORK・木根尚登が、「自給率」「食の安全」「お米と農業」など、食や農に対する素朴な疑問とメッセージを語る。				
22	データブック*食料 岩波ブックレット no.737	西川潤/著	岩波書店	2008/08/01	6113/N26/1-2
	食料価格の高騰、食の安全意識の高まり、深刻化する飢餓…。世界の、日本の「食」をめぐる環境が大きく変わりつつある。その要因は何なのか。これからどうなっていくのか。最新のデータをもとに解説する。				
23	食糧争奪 日本の食が世界から取り残される日	柴田明夫/著	日本経済新聞出版社	2007/07/01	6113/S36/
	限りある食糧に全世界が群がり始めた。「爆食」中国の脅威、エネルギー市場に吸い取られる穀物、激減する水資源…。食糧問題の第一人者がわが国を襲う争奪戦を克明に描き、果たすべき役割を示す。				
24	食糧がなくなる!本当に危ない環境問題 よりもっと深刻な現実	地球温暖化 武田邦彦/著	朝日新聞出版	2008/08/01	6113/T15/
	食糧・石油不足、危険な外国製食品、身近な食中毒…。地球でいったい何が起きているのか。ベストセラー「環境問題はなぜウソがまかり通るのか」の著者が、生活に忍び寄る本当の危機を綴った衝撃の1冊。				
25	地球温暖化と農業 地球研叢書 地域の食料生産はど うなるのか?	渡邊裕裕/編	昭和堂	2008/05/01	6113/W14/
	今や確実に進行している温暖化。私たちの住む地域ではどのように現れ、暮らしを支える農業にはどんな影響が出るのか。人間と自然との相互作用環のパロメーターである農業に焦点を当てたプロジェクトの成果を紹介。				
26	日本の「食」は安すぎる 講談社+α新書 390-1C 「無 添加」で「日持ちする弁当」はあり得ない	山本謙治/ [著]	講談社	2008/03/01	6113/Y17/
	タブーを犯さなければ生産者は生きていけない。本物には必要な「適正価格」があり、安さだけの追求が食品偽装を引き起こす。日本の素晴らしい食を買い支えよう。食品偽装の根源に迫る1冊。				

27 中国に「食」で潰される日本の行く末 山田正彦/著 青萌堂 2008/04/01 6114/Y12/

中国の「食」の災禍を浴びても、輸入に頼らざるをえない日本。毒ギョーザ事件は起こるべくして起こった…。中国の危ない実情を明らかにし、自給率どん底の国を救う起死回生のシナリオを披瀝した核心の書。

3 その他

通番	書名	著者等	発行所	発行年月	請求記号
28	検証*「食品」の間 初めて明かされる食品添加物の真実	小薮浩二郎 /著	リヨン社	2008/08/01	4985/K107/
食品添加物はなぜ危ないのか。科学反応を加えたデンプン、添加物には分類されない化学合成食品の数々…。食品添加物や食品の研究開発の最前線に立ち続ける現役の研究者が、怒りを込めて告発する加工食品の実態。					
29	野菜と果物を「安心」して食べる知恵 これです安全！	徳江千代子 /監修	二見書房	2008/10/01	4985/T66/
野菜と果物の旬や、栄養・薬効・効果的な食べ方、有害物質の排除方法、適切な保存法のほか、全国名産地MAP、体調別お役立ち野菜ガイドなどをコンパクトにまとめた1冊。					
30	日本型バイオエタノール革命 水田を油田に変える地域再生	山家公雄/ 著	日本経済新聞出版社	2008/06/01	5748/Y1/
「主食を燃料にする」決断が農業を救う。エネルギー革命は、世界と日本をどう変えるのか。実力派エネルギー・エコノミストが、バイオ燃料の知られざる実態と課題を具体的に解説。					
31	ノンコンプライアンス・レコード 日本向け米国食肉処理施設におけるBSE違反記録	紙智子事務所/ 編	合同出版	2006/08/01	6482/K5/
「米国の食肉処理のシステムとその問題点」「ノンコンプライアンス・レコード」「ノンコンプライアンス・レコードを読む」で構成。日本向け認定施設におけるBSE対策違反の記録とそれに基づく分析をまとめた1冊。					
32	あぶない肉 Beef, pork, chicken	西沢江美子/ 著	めこん	2006/02/01	6482/N9/
アメリカ牛肉禁輸、BSE、鳥インフルエンザ…。日本人の食卓を襲う「肉問題」を根本から解説。専門的な知識から具体的な「肉の選び方・食べ方」「どこで買えばいいのか」まで、これ1冊で肉問題の全てがわかる。					
33	アメリカ産牛肉から、食の安全を考える 岩波ブックレット no.696	岡田幹治/ [著]	岩波書店	2007/03/01	6482/O2/
米国産牛肉の輸入再開問題で、食の安全についての認識が大きく揺さぶられた。「安全な食べ物」という切実な願いに応えるには、どのような対策が必要なのか。米国産牛肉をケーススタディに、食の安全について考える。					
34	豚肉が消える 差額関税が日本の食卓を破壊する	食肉の輸入 制度・流通を 考える会/編	ビジネス社	2007/07/01	6482/S4/
日本人の食生活に欠かせない豚肉。だが豚肉は、特殊で複雑な輸入制度である差額関税制度に縛られている。この制度が続くとどうなるのか。本書では、差額関税制度の問題点をわかりやすく指摘し、制度の廃止を訴える。					

編集・作成 香川県立図書館
〒761-0393 高松市林町2217-19
Tel 087-868-0567
<http://www.library.pref.kagawa.jp>

◎身近な課題の解決に図書館資料を活用ください。